報告書様式3

**年度報告書**

**(○○○○年度)**

（博士後期課程ではリサーチプレゼンテーションの評価にも使用）

○○年○○月○○日

（　報告者：　プログラム学生　）

専攻・学年　　○○○○○○専攻・○○課程○年

学籍番号　　　○ＳＣ○○○○○○

氏名　　　　　○○○○

年度報告書の提出にあたり記入内容について主指導教員(〇〇 〇〇教授)の承認を得ました。

(以下の内容を含んでいれば，形式はある程度自由でよい。例えば研究室での研究計画等を簡単に修正したものでもよい。また，記入スペースが足りない場合は別紙での提出も可能である。)

|  |  |
| --- | --- |
| 活動記録 | ・（例）５月１１日：学振特別研究員応募  ・（例）６月　４日：○○学会にて研究発表(ポスター)  ・（例）９月１０日：シンポジウム「○○○」にて研究発表(口頭)  ・（例）１１月９日：○○研究会に参加 |
| 投稿記録と  発表論文  （年度内に投稿した論文名とその改訂記録、発表論文を記載） | ・  ・  ・  ・ |
| 特記事項 | ＞表彰や学術振興会特別研究員採用など： |
| 学生による  今年度の全体的な達成状況と評価・反省 | (年度目標に対する全体的な成果と評価・反省を記述する。) |
| アドバイザリーコミッティ/副指導教員からのコメント(任意) |  |
| 主指導教員からの評価・コメント |  |

○学生の自己評価・反省に基づいて，学生と議論をしながら主指導教員の評価・コメントを書く。

○年度当初に書かれた年度目標に基づいて，各項目の状況を評価する。年度目標の変更があった場合は，変更された目標に基づく評価を行う。

○年度目標と評価の基本は，最終的に修士あるいは博士取得に至る道程において，それぞれの学年にふさわしい力を持っているかどうかである。

○ＡＣからのコメントは，能力評価など難しい点があるので，任意とする。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 学生の自己評価 | 主指導教員の評価・コメント |
| 専門に関する基礎的能力 |  |  |
| 広い視野 |  |  |
| テーマの設定，調査および計画能力 |  |  |
| 研究・問題解決能力 |  |  |
| プレゼンテーション・コミュニケーション能力 |  |  |
| 外国語能力 |  |  |

○**自己評価および主指導教員の評価については、5段階評価、文章での評価どちらでも可能である。**

○5段階評価の場合、3が標準である。4は優れている，5は特に優れているということであり，2と1はその反対である。

○学生の自己評価に基づいて，学生と議論をしながら主指導教員が5段階で評価、あるいはコメントを書く。

○上の表は全体的な達成状況に個別的な事項について書く。書きにくい場合も考えられるため、すべての項目について書く必要はない。

○その他のことは2ページ目に書いていることと同じである。

※　記述スペース・ページは自由に増やしてよい。また別紙も可能である。

※　その他、自身の記録として残したい資料も自由に付け加えてよい。